



東和町

人口：「5,285人」
(平成15年4月末現在、
住民基本台帳による)
面積：「38.79km²」
町の花：「みかんの花」
町の木：「さくら」
キャッチフレーズ：「生
涯現役の町」

広島県をはじめ広島・山口両県にまたがる広島湾域6市16町の自治体と商工会議所・商工会で組織する「広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会」では、海から見た都市づくりをめざす「海生都市圏構想」実現のため、共生・分担・交流・連携をキーワードに積極的な事業を展開しています。このコーナーでは、湾域各市・町の様々な情報を毎月ご紹介しています。

一見どころ盛り沢山！観光の町一



陸奥記念館

淡路島、小豆島に次いで、瀬戸内海で3番目に大きな島「周防大島」。金魚の形をしたこの島の尾びれに当たる部分が山口県東和町です。

以前、「高齢化率日本一の町」として知られていた東和町は、日本一の座を返上(?)した今も、新聞やテレビで話題になることが多い町です。話題の中心は、なんとといっても2人の町出身者。民俗学者の故・宮本常一先生と、作詞家の星野哲郎先生です。



道の駅 サザンセットとうわ

宮本常一先生は民俗学という分野を超えて、全国各地の離島振興や、周防猿まわしなどの芸能復興に貢献された方です。最近、新聞に先生の特集記事が連載されるなど、再評価の気運が高まっています。

町では現在、宮本先生に関する資料展示室を主体とした文化交流促進施設(仮称)の建設を進めており、平成16年度の開館を予定しています。地元住民はもちろん、全国の「宮本ファン」の活動拠点となることでしょう。

また、星野哲郎先生は「函館の女」「兄弟船」など数々の演歌のヒット曲を世に送り出した作詞家です。海水浴客でにぎわう逗子ヶ浜には、星野先生作詞の「なみだ船」の歌碑があり、町の

観光スポットになっています。今年には星野先生作詞家生活50年の記念の年で、東和町でビッグイベント(全日本えん歌蚤の市)も計画されています。これからの季節は東和町が最も光り輝く季節です。エメラルド色の美しい海と白い砂浜。皆様もぜひ一度、東和町へお越し下さい。

東和町の見どころ

- ① 片添ヶ浜海浜公園
海水浴場を中心に温泉、テニスコートなどを完備。リゾートホテル、オートキャンプ場、民宿など宿泊もOKです。
- ② 道の駅「サザンセットとうわ」
特産品の販売コーナーやレストラン、地域の情報コーナーがあります。東和町を訪れた際は、真つ先にお立ち寄りください。
- ③ 陸奥記念館
昭和18年6月、東和町沖で謎の爆沈を遂げた旧日本海軍の巨大戦艦「陸奥」の部品や遺品が展示されています。近くにはキャンプ場や水族館もあります。
- ④ なぎさ水族館
東和町近海の魚を主体に展示。タッチングプールや海藻のしおり作りが大好評。流水の天使「クリオネ」も健在です。

■東和町のイベント情報■

- 7月13日 ビーチバレー大会 (片添ヶ浜)
- 8月10日 全日本えん歌蚤の市 (東和町陸上競技場)
- 9月23日 砂の祭典 (片添ヶ浜)
- 10月12日 ジギングトーナメント (東和町近海)
- 11月3日 ふれあい祭り (東和町総合センター)
- 12月21日 大島一周駅伝競走大会・女子大島駅伝競走大会 (大島郡全体の行事)

【問合せ先】東和町役場企画課

TEL (0820) 78-0237

E-mail : kikakutowa@towatown.jp



片添ヶ浜海浜公園